

道徳通信

～「二通の手紙」～

愛西市立八開中学校

道徳通信

令和4年1月26日の授業



～～「規則は、何のためにあるのだろう」について考えました～～

小さい女の子と幼い弟が動物園にやってきて、今日は弟の誕生日だから中に入りたいと言います。保護者が一緒にないと入れません。入園終了時刻も過ぎています。しかし、何か事情があつてのことだと察した元さんは二人を中に入れてやりました。ところが、閉園時刻が過ぎても二人は戻って来ません。職員総出で探し、1時間後、園内の小さな池で遊んでいた二人を発見しました。

後日、姉弟の母から感謝の手紙が届きましたが、会社からも元さんに手紙が渡され、「停職処分」になります。職員たちは納得がいきませんが、元さんは自分の無責任な判断で事故にならなくてよかったと、晴れ晴れとした顔で職場を去っていったのでした。

人を喜ばせるためなら規則を破ってもいいのだろうか。規則よりも心情を優先させたために起こったトラブルを通して、規則は何のためにあるのかを考えました。

●● ●●くん

規則は破ってはいけない。破ってもいい規則は規則の意味がない。そう頭で考えていたとしても、実際目の当たりにしたらその考えが覆りそうなのも否定できない。日常では規則を破らない。だが、刑罰を受けることよりも重要なことがそこにあるのなら、破る決断をすべきだと思う。

●● ●●くん

規則を守るのか、お客さんのためにおもてなしをするのかという元さんの難しい判断に僕も悩まされました。ただ、会社が停職処分を下したことは道徳的に考えると気の毒になりました。

●● ●●くん

他人を喜ばせるために何かをすることは良いことだけど、それが規則やルールに反していないか考えて行動する事が大切。規則の意味を理解し、それに反しないように生活しようと思う。

●● ●●さん

私はもし、委員会で誰かが仕事をやり忘れていたら、自己の判断だけではやらないようにしたいです。誰にも言わず、自分だけが怒られるっていうのは少し理不尽な気がするので、先生に報告して、その上で行動したいです。

●● ●●さん

自分は反対だったけど、賛成派の思いやりという意見を聞いて、なるほどと思った。だけど、思いやりにも責任がついていると思う。どんなことがあっても、規則を守らなかったり、人に迷惑かけたりすることはいけないことかなと思った。今日の授業で規則を守る大切さがわかった。

●● ●●さん

自分自身の気持ちとか思いだけでは、規則を破ってはいけなく、必要な用事や義務がある場合は規則に臨機応変に対応していかないといけないのかなと思った。元さんの気持ちもすごくわかるけれど、規則も守らないといけない。どちらを選択すべきかわからなかった。

●● ●●さん

元さんのしたことは決して良いと言えることではないが、相手を思いやることも規則を守ること大切だと思った。だから、相手を思いやる時はそれ相応の責任を持つべきだし、規則を守ることを第一にして、その上で相手を思いやるべきだと思った。

●● ●●さん

自分がとった行動が他の人に迷惑をかけることがあることを理解して生活していかないといけないと思いました。最後まで自分が責任を取れないならば一人で判断して行うのではなく上の人に少し助けを求めることもこれから社会に出るにあたって必要だと思いました。なんでもやってあげるのではなく悪いことは悪いと言える人が本当の優しい人だと思いました。